

行政事業レビューシート (環境省)

予算事業名	海洋環境モニタリング推進費等	事業開始年度	(※「事業概要」参照)	作成責任者		
担当部局庁	地球環境局	担当課室	環境保全対策課	課長 瀬川 俊郎		
会計区分	一般会計	上位政策	地球環境の保全			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-	関係する計 画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	<p>○海洋環境モニタリング推進費 海洋環境モニタリング調査は、日本周辺海域の調査地点における陸域からの汚染および廃棄物の海洋投入処分に由来する汚染状況を把握することを目的としている。海洋環境モニタリング多様化推進事業は、油等流出事故が発生した場合において、従来の船舶を使用した調査に加えて、汚染状況の分布を確認するための新たな手法(衛星写真の利用)を確立することを目的としている。</p> <p>○北西太平洋地域海行動計画推進費 中国、韓国、ロシアと我が国の4か国による北西太平洋地域海行動計画(NOWPAP)を我が国として支援するため、人工衛星を利用したリモートセンシング技術及び採水調査による富栄養化に係るモニタリング手法の開発を進め、また、我が国の有する海洋環境保全に関する情報、知見を各国と共有し、海洋環境保全のための多国間協力に資することを目的とするものである。</p>					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	<p>○海洋環境モニタリング推進費(H10年度～) 水質、底質、海洋生物等に蓄積される汚染物質等を対象として、日本周辺の海域において、測線及び測点地点を設定し、6～8年で一巡するように調査を行っている。また、専門家による検討会を開催し、調査結果の検討・解析を行っている。また、衛星画像の活用による油等流出に係るモニタリング手法の検討及びシステムの構築に向けた作業を行っている。</p> <p>○北西太平洋地域海行動計画推進費(H13年度～) NOWPAPに基づき、対象海域の海洋環境の状況を把握するために、人工衛星を利用したリモートセンシング技術及び採水調査による富栄養化に係るモニタリング手法(人工衛星による海域の観測データを、採水調査による現場データを用いて補正することにより、NOWPAP海域全体に渡る、より正確なかつ多様なモニタリングデータを得るための手法)の開発と各国への一般の方々、研究者等へのデータ提供を行った。また、NOWPAPの活動として作成されているレポート、データベース等に我が国の有する情報、知見を提供した。</p>					
実施状況	<p>○海洋環境モニタリング推進費 海洋環境モニタリング調査に関しては、平成21年度は富山湾沖の測線及び新潟港沖の海洋投入処分海域で調査を実施した。また、平成20年度実施した東京湾沖の測線及び房総・伊豆沖の海洋投入処分海域での調査結果を検討・評価を行った。モニタリング手法の多様化推進事業に関しては、衛星画像を利用した流出原油等のモニタリング手法のシステム構築に関する概念設計を行った。</p> <p>○北西太平洋地域海行動計画推進費 ウェブページからの解析データ提供を目的とした環日本海海洋環境ウォッチシステムを構築し、水温、植物プランクトン濃度等の観測データを取りまとめた。さらに、NOWPAP富栄養化状況評価手順書を作成し、各国が本手順書に基づいて各海岸における富栄養化状況の診断を始める準備を行った。また、NOWPAPの下、POMRAC(汚染モニタリング地域活動センター)が作成する海域への汚染物質の河川流入に関するレポート及びNOWPAP自然保護地域データベースに対して、我が国から情報、知見の提供を行った。</p>					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	102	97	81	102	106
	執行額	93	93	74		
	執行率	91%	96%	91%		
	総事業費(執行ベース)	93	93	74		
自己点検 支出先・使 途の把握水 準・状況	<p>○海洋環境モニタリング推進費 海洋環境モニタリング推進費に関しては、4案件を締結している。業務の遂行にあたり、事業者に対し対面、メール及び電話による指示をしている。また、試料採取の状況、分析の進行状況に関して、事業者より逐次報告を受けている。検討会の開催前等には、適宜事業者と対面等により打ち合わせを行っており、事業の把握水準は十分である。</p> <p>○北西太平洋地域海行動計画推進費 業務の遂行にあたり、事業者に対し対面、メール等による経過報告聴取、業務内容の指示をしている。成果物の水準の科学的観点からの評価については、国内における有識者による検討会委員による確認の他、本業務で作成したNOWPAP富栄養化状況評価手順書を活用してNOWPAPの下で加盟各国の海域環境の評価が今後行われる予定であり、国際的な場で専門家による評価が行われることとなる。</p>					

	見直しの余地	<p>○海洋環境モニタリング推進費 海洋環境モニタリング推進費に関しては、各調査測線の時系列的变化を把握するには、測線を1巡する年数が短いほうが良いが、これまで調査項目の削減により効率化を測っているにも関わらず、1巡するのに6～8年かかっているのが実態である。流出原油等に係るモニタリング手法の多様化推進事業に関しては、システムの概念設計に当たり、より効果的・コスト効率的な衛星写真を利用できないかの検討を行っている。</p> <p>○北西太平洋地域海行動計画推進費 現在は、リモートセンシングによるデータを採水調査により補正して富栄養化に係る海洋環境モニタリングを行っているが、リモートセンシングデータ解析技術の向上が図られれば、経費のかかる採水調査の頻度を減らせるため、より少ない予算で事業実施できる可能性がある。</p>
予算監視の所見・効率化チーム	一部改善	<p>(これまでの成果を踏まえ、よりの確に経年変化を把握するための事業内容の合理化、集約化を行い、効率的な事業実施に努めるべき。)</p>
補記		

環境省
30百万円

北西太平洋地域海行動計画推進費

【内容】

NOWPAPに基づき、対象海域の海洋環境の状況を把握するために人工衛星を利用したリモートセンシング技術及び採水調査による富栄養化に係るモニタリング手法の開発とデータ提供を進めている。

【随意契約・請負】

A. (財)環日本海環境
協力センター
23百万円

北西太平洋地域海行動計画活動推進事業
【業務内容】
・衛星データを活用した富栄養化に係るモニタリング
・富栄養化状況判定手法の検討調査
・環日本海海洋環境ウォッチシステム維持管理

【随意契約・請負】

B. 日本船用エレクトロニクス株式会社
2百万円

環日本海海洋環境ウォッチシステムに係る機器の改修業務
【業務内容】
・衛星データ形式変更に伴う受信装置の改修

【随意契約・請負】

C. 日本船用エレクトロニクス株式会社
4百万円

人工衛星による観測データの信号受信・処理システム保守管理業務
【業務内容】
・人工衛星による観測データの信号受信・処理システム保守管理

【少額随意契約・請負】

D. イー・アンド・イーツ
リレーションズ(株)
0.9百万円

POMRAC河川流入モニタリング国内動向調査業務
【業務内容】
・汚染物質の河川からの流入及び海洋への直接流入モニタリングに関する基礎データの収集・整理とレポート作成

【少額随意契約・請負】

E. (財)国立公園協会
0.6百万円

NOWPAPデータベース追加情報整備業務
【業務内容】
・NOWPAP地域にかかる我が国の自然公園情報についてのデータの整備

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

環境省
44百万円

海洋モニタリング推進費

【内容】

日本周辺海域の調査地点における汚染状況の把握
衛星画像の活用による油等流出に係るモニタリング手法の確立

【一般競争入札・請負】

F. 日本エヌ・ユー・エス株式会社
11百万円

海洋環境モニタリング調査総合解析業務
【業務内容】
・海洋環境モニタリング結果の解析及び検討会の開催
・モニタリング手法の多様化に向けた概念設計

【一般競争入札・請負】

G. 株式会社環境総合テクノス
27百万円

海洋環境モニタリング調査業務(試料採取)
【業務内容】
・水質、底質、生体調査等の実施

【一般競争入札・請負】

H. 株式会社環境化学コーポレーション
2百万円

海洋環境モニタリング調査業務(重金属類等分析)
【業務内容】
・採取した試料の重金属類等の項目の分析

【一般競争入札・請負】

I. 帝人エコ・サイエンス株式会社
4百万円

海洋環境モニタリング調査業務(有機スズ等分析)
【業務内容】
・採取した試料の有機スズ等の項目の分析

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出さ
 れている者
 について記載
 する。使途と費
 目の双方で実
 情が分かるよ
 うに記載)

A. (財)環日本海環境協力センター			F. 日本エヌ・ユー・エス株式会社		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	北西太平洋地域海行動計画推進経費	23	雑役務費	海洋環境モニタリング総合解析経費	11
計		23	計		11
B. 日本船用エレクトロニクス株式会社			G. 株式会社環境総合テクノス		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	環日本海海洋環境ウォッチシステムに係る機器の改修経費	2	雑役務費	海洋環境モニタリング調査経費(試料採取)	27
計		2	計		27
C. 日本船用エレクトロニクス株式会社			H. 株式会社 環境化学コーポレーション		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	人工衛星による観測でエータの信号受信・処理システム保守経費	4	雑役務費	海洋環境モニタリング調査経費(重金属類分析)	2
計		4	計		2
D. イー・アンド・イーソリューションズ株式会社			I. 帝人エコ・サイエンス株式会社		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	POMRAC河川流入モニタリング国内動向調査経費	0.9	雑役務費	海洋環境モニタリング調査経費(有機スズ等分析)	4
計		0.9	計		4
E. 財団法人国立公園協会					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	NOWPAPデータベース追加経費	0.6			
計		0.6	計		0